

復興支援活動レポート



平成 29 年 12 月 15 日

久留米市所属	総務部総務課（兼）環境部総務
派遣先所属	益城町 税務課（10 月末までは環境衛生課）
派遣期間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

1 主な業務の内容

業務概要	●新築家屋固定資産調査・評価業務
事務内容	●家屋調査・評価事務 ●被災代替家屋特例申告に関する事務 ●専用住宅家屋証明書の発行事務

2 担当業務の状況

- ・例年の 4～5 倍にあたる約 800 棟の新築家屋調査を 2 月末までに評価計算も含め完了しなければなりません。ペース配分に苦慮しながら業務を進めています。
- ・役場職員 2 名、役場OB職員 3 名、高知市、姫路市からの応援職員と私を含め 8 名体制のもと、2 名 1 組で家屋調査を行なっています。（調査依頼の文書作成・送付は役場職員が行ない、その後の日程調整は非常勤職員が行なっています。）



●姫路市の職員と家屋調査する様子



●家屋所有者へ税金の説明をする様子

3 業務に携わって感じたこと（苦労したこと、学んだこと等）

- ・「県外から来て大変ね、ありがとう」という感謝の言葉に励まされました。ご高齢の町民の方の「この歳になって家を建て替えるとは思わなかった。」という言葉や、町民の方から聞く地震の話は胸にくるものがありました。
- ・震災前は、件数も少なかったせいか、評価要領等が確立されていませんでした。今回は、他市からの応援を含め調査班が 4 班あるので、評価基準の統一に苦慮しました。
- ・派遣職員だけで家屋調査にまわる際は、益城町の住宅地図を見ながら調査先に向かうことになるので、地理を覚えるのに苦労しました。
- ・家屋評価は経験していましたが、土地評価や償却資産に関する業務は未経験であり、今回、補助的なお手伝いをさせていただき、大変勉強になりました。